

Northerner

総会員数 7,044名(2023.4.30現在)



Contents

第74回北海道理学療法士学術大会のお知らせ
7月17日は理学療法の日
パラスポーツの関わり～地域での実践例
専門職として連盟活動の意味を考える
求人募集広告申込要項／事務局からのお知らせ

INTERVIEW
理学療法士の職域拡大に向けた新たな分野の紹介シリーズ【第8弾】
小児救急の分野で活躍しているセラピスト

広報部コラム
賛助会員・協賛企業一覧
Instagramはじめました
Northerner原稿締切
原稿募集のお知らせ

第74回 北海道理学療法士学会大会 多様性をつなぐ

企画進行中! 詳しくは
学会HPをご覧ください

会 期 2023年11月11日(土)・12日(日)

会 場 北海道文教大学(恵庭市)

開催形式 ハイブリッド開催(現地、Live配信、オンデマンド配信)

大会長 表 亮介(市立札幌病院リハビリテーション科)

副大会長 塩原 貴之(イムス札幌内科リハビリテーション病院)

準備委員長 小島 伸枝(時計台記念病院)



大 事
務 局

北海道理学療法士会札幌支部

E-mail:74gakkai@pt-hokkaido.jp

URL:<https://www.pt-hokkaido.jp/congress/>

7月17日は理学療法の日

社会局 企画推進部

小川 真太郎



7月17日は「理学療法の日」です。

1965年に理学療法士の資格制度が誕生し、翌年の国家試験に合格した110名の理学療法士によって、7月17日に結成されたのが日本理学療法士協会です。理学療法の日は、この日本理学療法士協会結成の日に因んで制定されました。

現在、理学療法士の活動は多岐にわたっております。理学療法士とその活動について、多くの国民の方に知っていただき、日本全体の保健・医療・福祉がより良くなることを願って定められた日です。また、7月17日の前後一週間を「理学療法週間」とし、毎年、各都道府県士会で理学療法に関するイベントやセミナーを行っています。北海道理学療法士会も各支部の社会部を中心に趣向を凝らしたイベントを開催し、多くの道民の皆様に参加していただいております。

過去3年間は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響により、多くの市民参加型イベントやセミナーの開催が中止となりました。その中でも、非接触や感染対策を講じてのイベント開催や札幌駅のデジタルサイネージを使用しての広告など、新たな試みも実施してきました。

今年度からは、徐々に対面でのイベント等を再開できると考えており、各支部が理学療法(士)の啓蒙・啓発事業に取り組みます。事業実施の際には、北海道理学療法士会、日本理学療法士協会のホームページ・インスタグラム等でお知らせしますので、道民の皆様に参加をお願いしたいと存じます。

また、本会会員の皆様も、「理学療法の日」を意識していただき、積極的な参加、道民の皆様への周知をお願いいたします。

パラスポーツの関わり～地域での実践例



健康スポーツ局 障がい者スポーツ支援部
塚田 鉄平

旭川で行われている活動を紹介いたします。旭川では、月1回『チャレンジタイム』という取り組みを行っています。旭川パラスポーツ協議会が主催となり、障がいの有無に関わらず、様々なスポーツを体験し、スポーツを楽しむ、運動するきっかけを作るといったイベントです。



4月は理学療法士3名がコーディネーターとなり、競技は剣道、車椅子フェンシング、タグラグビー、車椅子テニス、テニスを行い、全体の参加者は健常者4名、車椅子使用者1名、知的障がい者1名、視覚障がい者2名(介助者2名)が参加しました。

剣道では、コーディネーターが参加者に丁寧に竹刀の握り方、振り方などをレクチャーし、素振りが上達してくると『面!』という大きな掛け声と共に面打ちを行いました。新しい運動経験と共に、爽快感を得ることができました。

テニスでは視力、視野のレベルに合わせてコートの広さ、ボールの硬さなどを変えさせ難易度を調整し、ラケットでボールをヒットさせる所からネットを挟んでラリーまで展開しゲーム性を楽しんでもらいました。参加者からは『運動するのが楽しい』、『もっと練習したい』、『できると思わなかった』など前向きな感想をいただくことができました。

特定のスポーツに興味を持った方に関しては定期的に活動を行っている競技団体を斡旋したりしています。

今年度の障がい者スポーツ支援部は『MEET & CONECT』を目標に活動を拡げていきます。理学療法士が障がい者スポーツの情報を持ち、障がいがある方をスポーツに繋げる事ができる事をベースとし、スポーツを社会参加の一つのツールとしての選択肢に活用する事を促したいと思います。スポーツ現場では地域で専門的に運動指導ができる理学療法士を増やし、地域の指導者と理学療法士が繋がり、障がいに合わせた運動指導を展開できる事を目指します。

具体的には昨年度から継続して釧路で行われる全道障がい者スポーツ大会や各種障がい者スポーツ大会で理学療法ブースを設置します。今まで関わった事がないから不安だと感じる方もいるかもしれませんが、事前講義を行い、当日はコアメンバーの指導を受けながら活動を行える体制を築きますのでお気軽にお申し込みください。

また、専門的な指導者の養成として、9月9・10日、12月9・10日の4日間で日本理学療法士協会会員対象の日本パラスポーツ協会公認中級パラスポーツ指導者養成講習会(理学療法士であれば中級から受講可能)を旭川で開催し、講師には、パラリンピックにも関わられているトップランナーの方や地域に根強く関わられている講師をお招きして開催します。詳細は改めてホームページに掲載しますので多くの方の参加をお待ちしております。



継続してパラスポーツwebミーティングを行い、実際に地域で関わっている実践例などを情報交換できる場を作りますのでパラスポーツに興味があるという方はぜひこちらのメーリングリストへ登録をよろしくお願いいたします。

<https://forms.gle/cxfsduXS7ZVRcd4yk9>

障がいがある方の未来を作るのは君だ!

専門職として連盟活動の意味を考える

政策提言委員会
委員長 太田 誠



本年1月18日に田中昌史氏が参議院議員として繰り上げ当選され、既に5ヶ月が経ちました。田中参議におかれましては、当選翌週の1月23日に召集された通常国会(第211回国会)から議員としてのレクチャーもそこそこに、国会議員としての活動が始まりました。その後、異例の早さで委員会質問の機会を得ることができ、全国の理学療法士会(理学療法士連盟)での国政報告や統一地方選挙での応援演説など、以前にも増して忙しい日々を送られています。昨年7月10日の第26回参議院議員通常選挙で小川克己前参議院議員が落選してから約半年の間、立法府に理学療法士が不在の状況で2024年度のトリプル改正(6年に1度の医療・介護・障害同時改定)に対峙しなければならないという不安定な状況下でしたので、田中参議の誕生は、我々理学療法士にとって非常に喜ばしい結果となりました。



法務委員会で質問をする田中昌史参議院議員

北海道理学療法士会の政策提言委員長の太田です。4月に統一地方選挙が行われ、本道も含め全国で多くの理学療法士地方議員が誕生しました。せっかくの機会ですので、この時期に理学療法士の政策達成という視点で連盟活動について考えてみたいと思います。

日本理学療法士協会や北海道理学療法士会には、理学療法(士)による社会貢献を行う公益団体としての役割と、理学療法の探究と教育を行う学術団体の役割、そして理学療法士の利益を守るための社会的活動を行う利益団体という役割があります。利益団体としての社会的活動については、理学療法士の専門性認知のための啓発活動や、適正な社会的評価や職域を得るための政治活動などがあります。厚生労働省や他団体に対し渉外活動を行うためには、我々の考えに賛同してくれる国会議員がいなければ、話も聞いてもらえませ

せん。要望内容が、民意を受けて作成されたものかどうか判断されます。当然ながら、国は一職能団体の利益誘導のためには決して動いてくれません。選挙で多くの国民から支持された国会議員は、何万人という国民の負託を受けて立法府で仕事をするのを許されています。

患者さん・障害を持たれた方、ご高齢の方のために法律を変えようとして、一人や二人の国会議員がいくら声を大きく叫んでもどうにもなりません。理学療法士の考えに賛同してくれる多くの国会議員の協力を得るためにいろいろな場所で理学療法(士)の活動をアピールしなければなりません。このことは、結果的には理学療法士の職域拡大にも繋がります。理学療法(士)に理解のある国会議員(候補者)を選挙で当選させるために選挙活動をしなければなりません。協会や士会は公益社団法人であるため選挙活動ができません。そこで、選挙活動を行うための団体として「連盟」があります。即ち、理学療法士連盟は協会・士会が行う政治活動を達成するための選挙活動の部分を担当する役割があります。協会・士会と「連盟」が二人三脚で活動するのは理学療法士だけでなく、どの団体も同じです。協会と士会は政治活動を許されていますが、選挙活動は許されていません。「連盟」は政治活動に加え、選挙活動が許されているので、理学療法(士)に関連する政策や政治活動は協会や士会が中心に考え、「連盟」が支援するということになります。

医療保険・介護保険の報酬の増大、働く場の待遇や給与の改善、また、職域拡大に向けての身分保障活動を積極的に考えて行動していかなければ、理学療法士の置かれた状況は何も変わらないことはご理解いただけるものと思います。私自身、多くの先達から「協会や士会は、学術事業だけでなく身分保障活動についても積極的に活動をしていかなければならない。」と教えられました。地方議員から国会議員まで理学療法士を理解してくれる議員を応援することで、国民の健康を守る専門職として、その立場を確立していく手段となるのです。皆さんも専門職として、職業人として理学療法士からの政策提言について一緒に考えてみませんか。



自民党厚生労働部会リハビリテーションに関する小委員会

公益社団法人北海道理学療法士会 求人募集広告申込要項

掲載料金	●A4 1ページ 白黒印刷：30,000円+税 ●A4 1/2ページ 白黒印刷：15,000円+税
掲載箇所	1.北海道理学療法士会 会報誌「Northerner」(発行部数2,100部) 2.公益社団法人北海道理学療法士会ホームページ(会員メニュー>求人広告)
発刊時期	2・6・9・11月 ※ホームページへの掲載は、通常2~3か月間となり、期間が過ぎた場合は自動的に削除させていただきますので、予めご了承願います。なお、掲載が不要となった場合は、ご連絡ください。
お申込み方法	本会ホームページの各種申請書ダウンロードより「求人広告申込要項」を取得して、記載例を参考に作成し、事務局までお申込ください。お申込を受信しましたら担当者より受領及び校正の連絡を致しますが、連絡が無い場合には事務局(TEL:011-213-0301)までお問い合わせください。なお、校正は原則1回とさせていただきます。 ※原則として、フォントはMSゴシック体とし、指定ロゴ・写真・画像の追加、お取り扱いは致しておりませんので、文字のみで作成をお願い致します。 ※本会の都合により掲載できない場合がありますので、予めご了承願います。
申込締切	発刊前月の1日 締切後は次号ご掲載となります。
お支払い方法	掲載された会報誌とともに、ご請求書を同封致します。 お手元に届き次第、お支払いいただきたくお願い申し上げます。
お申込み・お問い合わせ先	公益社団法人北海道理学療法士会 事務局 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1 カミヤマビル4階 TEL:011-213-0301 FAX:011-213-0302 E-mail:office@pt-hokkaido.jp

▶▶▶ 事務局からのお知らせ ◀◀◀

1	異動・住所変更 改姓・転出入等	○異動(休退会を含む)が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。 ※マイページID、PW 紛失の場合は、日本理学療法士協会 TEL: 03-6804-1421 へ申請願います。 ○ご結婚等で改姓をされた際の免許の書き換えは、お住まいの地区の保健所又は保健センターでの手続きとなります。
2	年会費納入 年会費領収書	【会費納入について】 ○年度開始前の3月末までに納入が無かった場合、4月より会員権利全面停止となり、6月末までに納入がなかった場合、会員資格喪失により退会となります。(退会の場合、生涯学習履歴は全て無効となり、復会しても履修履歴は戻りません。) 詳細は日本理学療法士協会HP→理学療法士の方向けトップページ→協会からのお知らせ→各種手続き→年会費をご確認ください。 ○納入手続きは、納入漏れや送金手数料が不要のクレジットカードを推奨致します。 詳細については、日本理学療法士協会へお問い合わせ下さい。 (TEL:03-6804-1421 HP:https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/07/) 【年会費領収書について】 ○日本理学療法士協会マイページより領収書の取得ができます。 出力方法:マイページログイン→お支払い管理→お支払い履歴・領収書発行
3	慶弔関連	● 慶事:会員の結婚(ご披露宴に祝電をお届け致します。) ①依頼者氏名・会員番号 ②本人氏名(女性会員の結婚の場合は旧姓)・本人会員番号 ③日時 ④会場・住所・TEL 上記4点を記載し、事務局までメールにてご連絡下さい。 ● 弔事:会員本人、配偶者及び一親等までのご家族についてのご不幸(弔意を表します。) ①依頼者氏名・会員番号 ③日時(お通夜・告別式) ②亡くなられた方の氏名 ④会場・住所・TEL 1:会員本人の場合 ⑤喪主氏名・続柄 ・会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○ (亡くなられた方との続柄。妻・長男等) 2:会員の配偶者及び一親等までのご家族の場合 ⑥会員周知対応可否 ・亡くなられた方の氏名 ○○ ○○、続柄(実父・義母等) ・会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○
4	講習会申込	事前WEB申込みとなっております。日本理学療法士協会マイページよりお申込み下さい。

小児救急の分野で 活躍しているセラピスト

職域事業部の理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業では、先駆的に行っている分野等で活躍されている理学療法士へインタビューを行い、会員の皆様に紹介することで興味をもつ、あるいはすでに興味をもっている人が一歩を踏み出すきっかけを作ること、そして、今後その分野での理学療法士の未来・可能性が広がるように活動しています。

今回は、小児救急の分野でご活躍されている理学療法士、佐藤優衣さんについて紹介します！



札幌医科大学附属病院
理学療法士
佐藤 優衣さん

理学療法士を 目指したきっかけ

小学生の頃から人と関わる仕事に携わりたいという漠然としたものがありました。高校時代の部活動で他校のバスケットボール部に理学療法士が帯同しているところを見たことが興味を持つきっかけとなりました。しかし、進路を決めるときには、医療と教育分野のどちらの道に進むか迷っていました。そんな時に、いくつかの大学で開かれていたオープンキャンパスに参加し、実際に骨模型を用いた学生さんによる授業を受ける経験や、理学療法士がスポーツ分野だけでなく脳卒中・小児分野など様々な領域で活躍していることを知り、強く背中を押され理学療法士を目指そうと思いました。

この領域に取り組む ことになった経緯

大学4年生の時に小児施設に実習に行ったことがきっかけで小児分野に興味を持ち

始めました。実習を通じて、小児領域ならではの難しさを感じましたが、それと同時に子どもたちに喜んでもらえるよう工夫し、楽しみながら評価や治療することにやりがいや魅力を感じ、小児領域を希望しました。また、在学中に理学療法士としてより専門性を磨くことの重要性を諸先生方から熱く指導を受けたこともあり、大学院に進学し小児分野の研究に取り組むことを目標にしました。

大学院在学中は非常勤で当院に勤務し、大学病院として様々な小児疾患を学ぶ必要がある中、子どもの運動発達の経過を感じられる新生児リハビリテーションという分野に触れ、この分野をより学びたいと思い今に至っています。現在は常勤職員となり、多くのお子さんに携わる機会をいただいています。

新生児リハビリテーション の対象者

小児科、Neonatal Intensive Care Unit (NICU)、Growing Care Unit



(GCU)の子どもたちが理学療法介入の対象となります。

具体的には、札幌医科大学附属病院のNICU/GCUでは、

- 早産低出生体重児(出生体重<1500g)
- 基礎疾患のある赤ちゃん(脳室内出血、染色体異常、ミオパチーなど)

上記が対象となります。

また、入院中に介入対象とならなかった赤ちゃんたちに対しても、退院が近くなった段階でDubowitzの神経学的評価を実施し、点数が低い場合(26/34点以下を目安)は新生児科の医師と相談し外来リハビリテーションの対象となることがあります。

小児救急領域の分野での実務内容

当院には、周産期状況からハイリスクな出産に伴う親子や出生後に高度な全身管理が必要な赤ちゃんが紹介されますが、基本的には急性期の理学療法におけるリスク管理をしながら発達支援を目的とした介入を実施します。

NICU/GCUでの具体的な実務内容は、

- ①ポジショニング管理(反り返り、向き癖、頭部変形の予防、安静時間の確保など)
- ②感覚運動経験の促し
(月齢に合わせた運動発達支援)
- ③ご家族への赤ちゃん体操指導
- ④在宅退院支援

などがあります。

病棟の医師・看護師と常に連携を取り合い、赤ちゃんの病棟での様子、ご家族の生活状況などをしっかり把握し、週に1回開かれる病棟カンファレンスにも参加しています。

介入対象となった多くの赤ちゃんは、NICU/GCUを卒業した後も外来にて理学療法を行います。外来への移行に際して、必要に応じてバギーの貸し出しやシーティング、移乗動作の練習なども行います。外来では歩行が上達して安定するまでを目安とし、運動発達のフォローを実施しています。外反扁平足などの足部の問題により、歩行の不安定さを呈するお子さんに対してはインソールを用いた治療を行うこともあります。

この領域で理学療法士として関わる意義・やりがいなど

新生児、乳児を対象とした場合も、理学療法士は**姿勢と運動の専門家**として、赤ちゃんたちの状態を評価し適切な介入を実施していく必要があります。運動発達を促すために必要な介入を病棟の医師・看護師に提案、共有しながら、赤ちゃんの運動発達を支援できることは理学療法士として関わる意義だと考えます。

また、NICU/GCUにいる赤ちゃんたちは何かしらの課題があり、ご家族のいるお家ではなく、病院で過ごしています。その中には、過敏さを持っていて落ち着いて過ごせない赤ちゃんや、呼吸機能が未熟で呼吸器が必要な赤ちゃんもいます。ポジショニングなど理学療法介入の中で落ち着ける時間が増えたり呼吸が楽になったりする時間が増えることにより、赤ちゃんたちの健やかな表情を見ることにとてもやりがいを感じます。

そんな赤ちゃんたちの様子を嬉しそうに見るご家族の様子もモチベーションのひとつとなっています。

新生児リハビリテーションを実施するにあたり、お子さんの周産期情報(在胎週

数、出生体重、新生児仮死の程度など)や呼吸、哺乳など全身状態を理解する総合的な知識が必要となり、抱っこやポジショニングなどのハンドリングの技術も求められます。また、他職種やご家族とコミュニケーションをとる機会が非常に多いので、コミュニケーション能力も重要と感じています。

今後について

日本の周産期医療は世界の中でも進んでおり、新生児の救命率はトップクラスと言われています。そのような日本において、新生児リハビリテーションの分野は臨床と研究の双方で更に発展していく分野だと感じています。私自身も個性溢れるたくさんの赤ちゃんたちに、より良い理学療法を提供できるよう日々の臨床・研究に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

卒前教育において、新生児リハビリテーションについて学ぶ機会が少ない学校もあると聞いております。在学中に新生児リハビリテーションの分野を知ってもらえる機会が増え、この分野が発展していくことに繋がれば嬉しいです。

私自身、知識が足りないと感じることも多いので、継続して学習し身につけた知識や研究の成果をしっかりと形に残していきたいと思っています。





映える写真

社会局 広報部長 橋本 晃広



私は10数年、広報部の仕事に携わっており、学会や総会、新年交礼会など士会行事の写真撮影を行っています。今回は「いい写真を撮りたいけどどうしたらよいかわからない」や「支部の活動の様子を写真撮影したいがうまく撮れない」と悩んでいる方はぜひお読みください。

そもそも、「いい写真」や「上手い写真」とはどのような写真でしょうか？光、構図、背景…など。人によって「いい写真」や「上手い写真」の感性は違います。まずは、自分が思う「いい」や「上手い」写真をたくさん見つけてください。そして、それらをじっくりと見てみてください。そうすると、被写体の向きや位置、光の強さや入り方、背景など自分が何をみて「いい」と思っているのか、様々な要素が見えてくるでしょう。そして、「いい」と思った写真がどんな設定で、どんな被写体で、どんな構図で撮られているのかをわかることができれば、自分が写真を撮るときに「いい」と思える写真を撮れるようになっているはず。「自分のイメージ通りの写真」が撮れるようになれば「いい写真」「上手い写真」になっていると思っています。

とは言え、ある程度のカメラの知識がなければイメージ通りの写真を撮ることはできません。一眼のカメラをお持ちの方は、まずは、「f値」「ISO」「シャッタースピード」この3つの設定を覚えてください。f値は、数字が小さいほど明るく背景がボケます。ISOは、数字が小さいほど暗く、大きいほど明るくなります。シャッタースピードは、数字が小さいほど遅く、大きいほど早くなります。遅ければ明るくなりますが手ブレしやすくなります。逆に早いと暗くなりますが手ブレしづらくなります。

最近ではスマホのカメラも性能がアップしております。気軽に撮影ができ、持ち運びの負担にならないのでスマホで撮影する方も多いと思います。スマホではフィルターをかけることで自分のイメージした写真に近づけ、フォトジェニックな1枚に仕上げてください。

ここで、「理学療法の日」の広報媒体で使用した写真を例に見てみましょう。背景をぼかすことで、モデルの理学療法士が強調され、写真全体が柔らかい印象になります。



背景をぼかし、やや明るさをあげて撮影



AUTOモードで撮影

最後に、撮った写真はいろいろな方に見てもらい、撮った写真が他の人にはどう映っているのか感想を聞いてみてください。他の人の感想を聞くことで自分では気付かなかったことに気付き次の1枚に繋がっていくと思います。みなさんも支部での活動の様子を撮影して、ぜひNorthernerに投稿してみてください。

正賛助会員

キーウェア北海道株式会社
学校法人淳心学園 北海道千歳リハビリテーション大学
学校法人都築教育学園 札幌医療リハビリ専門学校
学校法人鶴岡学園 北海道文教大学
学校法人西野学園
学校法人日本医療大学
学校法人東日本学園 北海道医療大学
学校法人北海道科学大学 北海道科学大学
学校法人吉田学園 専門学校北海道リハビリテーション大学校
公益社団法人函館市医師会 函館市医師会看護・リハビリテーション学院

副賛助会員

一般社団法人 北海道言語聴覚士会
公益社団法人 北海道作業療法士会
株式会社竹山
株式会社特殊衣料
矢崎化工株式会社 北海道支店
特定非営利法人HPT

協賛企業

オージー技研株式会社 札幌営業所
酒井医療株式会社 札幌営業所
株式会社日本メディックス 札幌営業所
ミナト医科学株式会社 札幌営業所
株式会社ムトウ

Northerner 原稿締切

◎No.236(9月発刊)2023年 8月1日(火)締切

◎No.237(11月発刊)2023年10月1日(日)締切

◎No.238(2月発刊)2024年 1月1日(月)締切

締切後にご提出いただいた原稿は、原則次号以降のご掲載となります。
予めご了承ください。

原稿募集のお知らせ

皆様からの原稿を募集しております。
全道の会員へ報告したいこと、伝えたいことがありましたら
是非、下記アドレスまでご連絡ください。

原稿送付先：広報部 (kouhou@pt-hokkaido.jp)

なお、求人広告原稿につきましては、事務局までご連絡願います。

求人広告原稿問合せ先：事務局 (office@pt-hokkaido.jp)

Instagram
はじめました



会員の皆様に役立つ情報をお届けいたします。
フォローよろしくお願いたします。

Northerner No.235
2023年6月1日発刊

発行／公益社団法人北海道理学療法士会

発行人／柿澤 雅史

編集人／橋本 晃広

印刷／幡本印刷株式会社

事務局／〒060-0003

札幌市中央区北3条西2丁目1

カミヤマビル4階

TEL:011-213-0301

FAX:011-213-0302

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。